

小山地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：9月4日（日）14 時～16 時

参加者数：55 人（会場参加 49 人、オンライン参加 6 人） グループ数：9グループ（会場8グループ、オンライン1グループ）

分類方法：ラウンド1 で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1 の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の（ ）はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1：(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (77件)	分類	ラウンド2：(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(68 件)	分類	ラウンド3：(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(50 件)
子ども(12 件)	(全般:6件) ・ 子どもが元気に遊べるまち。(A) ・ 子どもたちの声が聞こえるとワクワクする。(B) ・ 子どもが元気なのが一番。子どもが元気だと親も笑顔になる。(C) ・ 子どもが健やかに育つこと。ワークショップのこの場があることが良い。(D) ・ 子どもたちが安心して暮らせるまち。(H) ・ 仕事では、子どもとお散歩。子どもが泣いたりするが、そういうものでほっこりできる。(オンライン)	子ども(10 件)	(全般:2件) ・ 子どもが元気になる企画作り、小さな子ども。(D) ・ コミュニティスクールをもう少し上手に使えるといい。子どもたちに地元に着着を持ってもらいたい。(E)	子ども(5件)	(全般:1件) ・ 子どもたちの登下校の見守りも安心感を得ることになるのではないか。(C)
	(遊び場・居場所:4件) ・ どんな場所でも子どもが楽しめる。遊べる(木登り・秘密基地)ふれあえるまち。(A) ・ 子どもたちが集まれる場があるまち。(E) ・ 子ども時分の遊び場は山。今は入れない。地域イベントもワクワクした。今はいろいろなものが薄まっている。(G) ・ 子どもや地域の育成に携わること。子どもの声を聞ける場所、居場所を作れること。(H)		(遊び場・居場所:5件) ・ 子どもの遊び場の整備・子どもがワクワク！！ →小山緑地・尾根緑道の一部を子どもの遊び場。管理を高齢の方がやる！ケガは自分持ち！！(A) ・ 居場所作り、不登校の子どもが集まっている。マンション内の中庭での居場所があったが今は無い。(B) ・ 子どもが増えたので、駄菓子屋さんを家の前でやってみたい。(E) ・ 子ども食堂。子どもたちの親とのつながり、課題。SOS を発せる関係。(G) ・ 子どもたちの居場所(空き家など気軽に行ける場所)づくり。(L)		(遊び場・居場所:3件) ・ 小山市民センターのいこいの間を子どもたちにも無料予約・開放できるといい。→高齢の方がイベント企画(こま・昔遊びとか)し、子どもを呼び込む。(A) ・ 小山緑地尾根緑道の森を貸し出せる。(A) ・ 都から緑道周囲の土地を借りる。子どもの遊び場づくり。管理は地元シニア。世代交流。(G)
	(交流・つながり:2件) ・ 子どもたちが学校へ笑顔で来てくれる(コロナの時子どもたちの元気がなくなった)。(B) ・ 子どもと接すること。地域に助けられた。(D)		(交流・つながり:3件) ・ 知らない子どもにでも声掛けができる。子ども食堂へつなげることができる。(D) ・ 子どもたちのあいさつは元気になる。(F) ・ 子どもが慣れるまであいさつを繰り返す。学校はあいさつを推進している。(G)		(交流・つながり:1件) ・ 子どもたちは地域(見守り隊の方たち)の人へ継続してあいさつを、知っている人を増やしていく。(B)

分類	ラウンド1：(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (77件)	分類	ラウンド2：(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(68件)	分類	ラウンド3：(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(50件)
交流・つながり づくり(11件)	・ みんなが無礼講でできること。(A) ・ 地域の人が温かく理解し合う、ふれあえる場があるといい!!(A) ・ マンションでの傾聴活動が課題。(B) ・ ワクワクするというイメージがあまり湧かないが、自分が困ったときに人のつながりを感じる。(C) ・ 地域では、顔見知りができる機会が大事。他世代との交流を通して、私たちは地域のことを知り愛着が出るのでは。(C) ・ 子どもと高齢者が一緒にできるような健康サークルがあればよい。一緒にの空間にいただけで意味がある。(C) ・ いろんな土地でいろんな人たちが交われることがよい。(C) ・ 一緒に空間にいることも大切だが、一歩踏み込めるような仕掛けがほしい。(C) ・ 勉強すること。多世代とのつながり、情報交換、情報を受け取る手段。(D) ・ 知り合いが増えていくこと。(D) ・ 子どもや高齢者など世代を超えた交流の場。(H)	交流・つながり づくり(8件)	・ 地域とひきこもりの若者がつながっていく仕組みをつくりたい。→役割・できることを活かす。教える。教えられる。(A) ・ 知り合いを増やす、スポット(いろいろな場所)でつながりをつくる。(B) ・ 隣り同士のコミュニケーションが取れるようにしたい。(B) ・ 世代別に考えてみる(今日はネタが欲しくて参加した)。(B) ・ だれとでもつながるきっかけづくり。(D) ・ 知っている人を増やそう。(F) ・ ママ友つながり。(G) ・ 様々な人と顔見知りになり、あいさつができること。日本一あいさつが盛んなまち。(I)	交流・つながり づくり(7件)	・ 町田市内と限定しない、隣接するところともつながりを作る。(A) ・ 色んな場所・時間等、参加できるところの選択肢をつくってあげる。→新たなつながりが生まれる。(A) ・ 顔見知りになる、知り合える仕組みづくり。→コラボにできる。(A) ・ 学校の中に地域のものを入れるのはいかがなものか？との意見があったが、住民の人たちには当事者として学校に来て欲しいと思っている。その一方で騒音が出るとクレームが来てしまう。(C) ・ 人とつながるスポットづくり。(D) ・ 新しい世代との接点づくり。(D) ・ 子どもたちの社会経験がたくさんできるために、他の施設との交流を増やす。⇒自分たちの施設ではできないことができる。(H)
あいさつ・ 声かけ (9件)	・ 「朝はおはよう！」近所のコミュニティがたもてること。(B) ・ 声をかけてもなかなか返事が返ってこない。(B) ・ 声をかけあうことが楽しい。犬への声かけをしている。(B) ・ あいさつが行き交うまち。(E) ・ あいさつができたり、声がかけられる。(F) ・ 毎日の声掛けに変化があるのが良い。(F) ・ あいさつがかえってくるまちがうれしい。(F) ・ あいさつから日常のつながりがうまれるといい。(F) ・ あいさつが自然にできる。大人とつながりがある。(G)	あいさつ・ 声かけ (7件)	・ 年齢なんか気にせず、声かけしやすい環境 積極的、遠慮しないで話しかける。(A) ・ あいさつ、何回か会ってやり続けているといいのでは。(B) ・ 隣近所の付き合いは大切。あいさつ運動をしたい。(E) ・ 自分から声をだしていく。(F) ・ 声かけから、活動の輪で増やす。(F) ・ あいさつ。顔見知りを増やす。(G) ・ 親同士があいさつを交わす。いろいろななかかわりの中であいさつがある。(G)	あいさつ・ 声かけ (6件)	・ 人と人のつながりをつくる：声掛け・おせっかい・自分から声をかける。(B) ・ 自分から声をかける。向き合う。(B) ・ キーワードは「あいさつ」声かけが大事(通学時の見守り時、ひと言も声がかからない)。(B) ・ 自治会に入っていない人に声かけ。(D) ・ あいさつから声かけ。(D) ・ 交流するきっかけとして、「あいさつ」をする⇒つながりが生まれワクワクするまちに。(H)
拠点・居場所 (9件)	・ 家からでること、出かけることができる。場所がある(老人会、学校での見守り活動)。(B) ・ 高齢者が集まれる場所があればいい。(E) ・ だれでも行かれる場所があって、そこに行けばワクワクするのは。(F) ・ 地域の方が集まれる場所があること。子育て世代への情報発信をもっと行いたい⇒多世代の交流をもっと増やしたい！情報発信・共有を増やしたい！(H) ・ みんな(子どもも気軽に)が、参加できる自然の場。(I) ・ 悩みを抱えた子のためのフリースクール。楽しむための(居場所づくり)。(I) ・ ネット上も含めた女性(みんな・多世代)の居場所づくり。(I) ・ 30～40代女性の居場所づくり。(I) ・ 子どもが散歩して楽しめるような場所があればよい。(オンライン)	拠点・居場所 (6件)	・ 日頃行ける場所が欲しかった！小山こどもクラブさんのような場所がスポット的にあるといい。(B) ・ 同じ世代の人たちとの共有できる場が必要。今ある場所を作ってよかった。(B) ・ いまある施設(ばお)がもっとあってもいいと思う。(B) ・ 場所の提供ができる。(F) ・ 同年齢の子ども同士の母親と知り合いになる場をつくる。もっと広める。(L) ・ 図書館は小さい子どもは行きづらい面がある。0歳から2歳の子が読める本がたくさんある、幅広い世代が楽しめる図書館がほしい。図書館を作るとなると、個人でできることはなかなか難しい。(オンライン)	拠点・居場所 (3件)	・ 世代のニーズを知って、それぞれの世代をまちへひっぱり出した。三井アウトレットパークは住民に無料で施設を貸しているので利用して欲しい。そして、イベントがある際には家族みんなで見て欲しい。騒音の苦情はあまり気にしなくていいのでは。(C) ・ 井戸端会議ができるスペース作り(スーパー内、キッチンカーなど)。(I) ・ 小山内裏公園にて(地域のお店出店、情報発信、人とつながるFree-WiFi 情報検索(オンライン)禁止を減らし自由に)。ワクワクスペース。(I)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (77件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(68件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(50件)
情報発信・共有 (7件)	・どんなこと(活動やイベント)などの情報を発信できるといい。(E) ・SNS でイベントなどの情報を発信できるといい。(E) ・イベントなど、みんなで協力しあえるといい。(E) ・いろんな町を見に行く。(F) ・(日常で気軽に)情報交換ができる。(F) ・市街地ゾーン、スポーツ広場ゾーン等で分けてアピール。ゼルビア等の宣伝にもなる。(オンライン) ・町田駅周辺と町田の端では全然まちが違う、違う良さをアピールしていかないとけない。(オンライン)	情報発信・共有 (13件)	・イベントの参加のしやすさ等の情報が入手しやすいといい。(A) ・自分自身、「健朗会」に入っているが、平均寿命が上がってきている。毎回、会の参加者も少なくなってきたが、誕生会やバス旅行などには来る人はいる。特に男性が入ってこない。他地域からの参加者はいる。活動が尻つぼみになっていて、ワクワクからほど遠い。今後の展開が難しくなっているの、告知など市の援助がほしい。(C) ・観光雑誌にのらないお店や古いものの情報提供と情報集め。(D) ・「多摩境」のお酒をアピール。(D) ・情報を取る機会をつくる。(F) ・地域資源を地域の子どもたちに教える(学習一貫→子どもから親へ)。(F) ・困っている情報を把握して、親目線(横のつながり)で行きたい所(イベントなど)をつくる。(L) ・周知の方法を考える。(L) ・情報発信でいうと、町田市はうまくいっていないように感じる。全市民のSNS発信等。ハッシュタグ町田、メタバースで仮想空間図書館をつくる。アイデアを形にするにはいろいろな人の力がある。情報を探しやすいものをつくるのが必要(オンライン) ・個人で持っている情報を伝えていくことはできる。何か作成するのなら、協力したい。保育室はブログやインスタで発信している。(オンライン) ・情報をほうりにめる場所があるとよい。(オンライン) ・ネット上だと、お年寄りとか、置き去りになってしまう方がいるとかわいそう。(オンライン) ・仕事上、高齢者向け情報発信は考えないといけない。SNS はなかなか見ないし、時間がかかる。有効なツールはない。町内会自治会からの情報発信が有効だが、参加率が低い。自分は、まずは、町田市のHPを見たので、町田市のHP上にはそういう情報をのせたらよいのでは。町田市が発信するのが難しければ、発信している人を紹介する。(オンライン)	情報発信・共有 (6件)	・パソコンができないとダメ(ネックとなっている)。パソコンの使用についてマニュアルが必要。(B) ・学校から地域の情報発信。(D) ・情報を得る機会、場所をもっと用意(子どもも大人も得れるように)。(F) ・単発で発信した情報をまとめて見られる仕組みがあると良い。(F) ・ひきつけられる魅力を発信。(F) ・アウトレットで地元情報を取得できる仕組み。地元子どもたちの発表会で使う。(G)
お祭り・イベント (5件)	・子どもから大人まで楽しめるお祭りをやりたい!!(A) ・イベントに参加できる(いろんな年代、いろんな人が参加できる、知ることができる)まち。(E) ・盆踊り(盆踊りの前に子どもたちに他地域の子どもに参加してもらイベント)。(E) ・お祭りがある。(F) ・イベントが定期的のあるとうれしい。(F)	お祭り・イベント (7件)	・地域の人とお祭り・イベントで交流・つながりができるとワクワクできる。←自分が運営になる。(A) ・催し物で比較的高齢者が集まるのは、映画くらいである。(C) ・まちだカルタ大会など継続的に行き、小規模のイベントにしていきたい。まずは準備の継続、引継ぎを。(E) ・盆踊りに高齢者だけではなく、子どもに参加してもらよう工夫した(学校と連携し、ソーラン節を)。若い世代に対して、SNS で情報発信したい。(E) ・八王子市や相模原市と広域的にイベントなどを展開していきたい。(E) ・施設同士の交流・イベント企画。(I) ・公園の利用(活用)として⇒コンサートなどを散歩の時間の合わせて行う。居場所づくり(相談してほしい)。野菜販売・マルシェ。(L)	お祭り・イベント (8件)	・小さなエリアだけでなく広い生活圏・堺地域くらいで大きな祭り・イベント・関わりを考える。(A) ・地域で盆踊りがあるが、若いお母さんたちがやぐらを組めないということを聞いたことがある。また、子どもたちが盆踊りを楽しめているのかと思う。(C) ・コロナの影響でここ数年、盆踊りや祭りができていない。でも、盆踊りの音が流れてくだけでも雰囲気を楽しむことができる。(C) ・餅つきなど地域の伝統的なものを大切にしたい。このまま何もしないと断絶してしまうのではない。(C) ・朝市場(野菜だけでなく、いろいろとあってもいい)、フリーマーケット、バザーなどを定期的に。(E) ・オヤマルシェ(多摩境駅前広場)。(E) ・ラジオ体操→子どもが興味を持つしかけをする。(F) ・イベント企画。(I)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (77件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(68件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(50件)
活動・活動の 担い手(4件)	・ みんなが頑張った結果が「すみやすいまち」に。(A) ・ 一人ひとりが深掘りしてボール体操などの趣味を楽しめるといい。(E) ・ 違ったことをする事が楽しい！(F) ・ 活動同士がつながるとワクワクするかも。(F)	活動・活動の 担い手(9件)	・ 高齢者の方が元気にできることを考える(子どものころ一緒に過ごしていない住民の人たちだから)。(B) ・ 「健朗会」などでは、リーダーみたいな人がいれば違ってくる。(C) ・ 「健朗会」は活動自体が減っており、防犯くらいだ。昔は、小山小学校で子どもたちに将棋を教えたりしていたことがあった。(C) ・ 助けてくれる人を集める 催し物の場と企画。(D) ・ 地域に関わっていききたいけど、難しい。タイミングもある。少しずつ関わっていききたい。(E) ・ 清掃活動などのゴミ集めがもっとできるといい。多くの人が集まるといい。何年か続けているとまちがキレイになる。今後、清掃活動を通じたコミュニケーションの場としたい。また、参加者の負担を押さえたい。(E) ・ 市のゴミゼロ運動のときは、家族連れの参加もある。(E) ・ イベントノウハウを教えなければ。(F) ・ 集まりへの参加・手伝い。(I)	活動・活動の 担い手(9件)	・ 自治会、町内会活動(加入率が減っている)の見える化、回覧板などで動きを見せる。(B) ・ 町内会(老人会)の加入がない。→メリットが無いと言われる。(B) ・ 自治とは何？互いに認め合うにはどうやったらいいのか！(B) ・ 若者がイベントなどの作り手が難しいのなら、何か役割を与えるのも一つの方法ではないか。(C) ・ 高齢者には、テーマを決めて集まってもらいたいのではないか。(C) ・ 家の前に「表現できるもの」(言葉、標語)を用意して、地域の人に見てもらう。(F) ・ 地域の「ネタづくり」をする。(F) ・ 子どもクラブ。ママさん、パパさんのつながる媒体。市域を超えてつながるネタ。(G) ・ お手伝いできる(子育て世代)場があれば。(I)
まちの機能 (3件)	・ 買い物も車がないと不便、まちっこなどを動かしてもらえると高齢者も方も動きやすいのでは。交通の便がよければ、いろいろなところに行ってワクワクを見つけやすくなる。(オンライン) ・ 息抜きできるカフェがないので、あるとよい。(オンライン) ・ 大人のワクワクできるものは、大きな図書館があるとよい。草むらがあるなら、図書館ができればよいと思う。カフェ併設など。(オンライン)	まちの機能 (4件)	・ 歩道の整備、遊歩道の工夫、ふれあい館の使い方。(D) ・ 車いす使用者も気軽に散歩できる、よりバリアフリー化されたコースがあるといい。今後を見据えて。(E) ・ バリアフリー化されたコースの整備は防災のときの非難に使える。(E) ・ 電線をなくしたら空が見やすくなった。(F)	まちの機能 (4件)	・ ネットワーク(インフラ)の設備を求める。(B) ・ ウォーキングをしている途中に、地域を紹介する看板があるとよい。地域の人も自分のまちを知るきっかけになる。来街者に説明できるように。(E) ・ 空き家の利用、保護動物をつながりのきっかけに。(H) ・ 市民と行政とのつながり、行政のフォローがもっと必要。情報発信も含めて。(H)

分類	ラウンド1: (1) 毎日ワクワクするのってどんなまち？ (77 件)	分類	ラウンド2: (2) 「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(68 件)	分類	ラウンド3: (2) 「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(50 件)
その他 (17 件)	(暮らしている人: 6 件) ・「やってみよう！！」と思う大人がたくさんいるまち。(A) ・～小山は人口が増えているまち～(B) ・山登り、このまちに良い世代が来ている。(D) ・生き生きする人が多いまち。趣味。(G) ・シニアが元気！長生きしている。(G) ・町田ふれあいホスピタル。ヤギが5頭。飼育されている方がフェンス越しに見せてくれる。近くにそういうポイントがあり、いいまち。ペット自慢してほしい。(オンライン)	その他(4件)	(暮らしている人: 0 件)	その他(2件)	(暮らしている人: 0 件)
	(自然: 5 件) ・地域の自然について、知ることのできるイベントができればよい。(C) ・緑が多い ふれあうきっかけ。(D) ・朝目覚めたら、鳥の鳴き声・川の音が聞こえる。自然が少なくなった。(G) ・農業振興地としてのアピールも広がっていければよい。地産地消もやっていったらよい。(オンライン) ・日本文化遺産の田端遺跡をもっとアピールできれば。ほかに、白山公園等もある。(オンライン)		(自然: 0 件)		(自然: 0 件)
	(まちのイメージ: 3 件) ・散歩する人が多い。昔よりも増えていて気持ちよく散歩してほしい。そのために公衆トイレがキレイだといい。(E) ・落ち着いたまち。車が多い。コミュニティバスへ。量販店が増えた。(G) ・散歩でそのまちを知ること。いいまち、親近感を感じるまち。(オンライン)		(まちのイメージ: 3 件) ・住みやすいまち、1・2位を目指したい。(E) ・地域資源を改めて見つけたらワクワクにつながった。(F) ・地域・社会の資源(サロン・ボラ活動)がいっぱい。ようけあるまち。(G)		(まちのイメージ: 0 件)
	(健康: 1 件) ・子どもより老人の数が多いという現状がある。ピンピンコロリではないが、公園には老人が健康維持ができるもの(設備)がほしい。(C)		(健康: 0 件)		(健康: 1 件) ・老人会の方々がひきこもりの無いようにしたい(男性は出てこない、どうしてだろう？)。(B)
	(支え合い・助け合い: 1 件) ・こちらの地区では、住民がお金を出して小山小学校ができたという経緯があることを知っている。(C)		(支え合い・助け合い: 1 件) ・他業種・多職種で連携して支援。(I)		(支え合い・助け合い: 1 件) ・となりの人におせっかい。(D)
	(その他: 1 件) ・今は何ともいえません。		(その他: 0 件)		(その他: 0 件)

＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること」、「③ あったらいいと思う地域の活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

小山地区では、1名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

① ワクワクするまち

- ・地区の人同士で、交流する機会のある町。

② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること

- ・＜ご意見はございませんでした。＞

③ あったらいいと思う地域の活動

- ・ワクワクする、ではないけど、定期的にゴミ拾いしたいです。一人でゴミ拾うのは、何か恥ずかしいので。